

## 今号の作業

# シリンダーヘッドを組み立てる①



今号では、「シリンダーヘッドC」を提供する。このパーツは11号で組み立てたシリンダーヘッドカバーの真下に配置されるパーツで、放熱フィンの最上段になるものだ。今回の作業は仮組みだが、後の作業をスムーズに進めるためにも、しっかりと組んでおこう。

### 今号のパーツ

①シリンダーヘッドC×1



※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

### 使用する道具

・特になし

### 用意するもの

・シリンダーヘッドカバー(11号で組み立てたもの)  
・マスキングテープ

### あると便利な道具

・瞬間接着剤(低白化タイプ)

STEP  
1

【表面】

フロント側



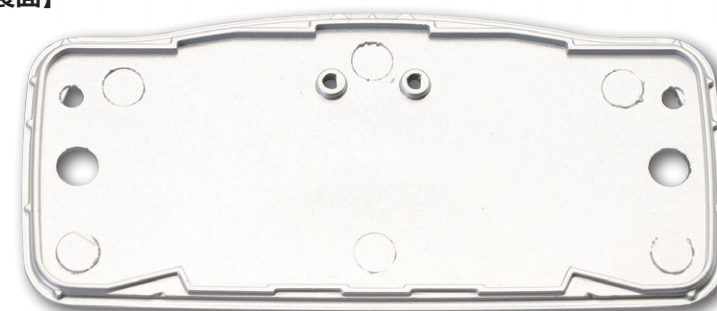
リヤ側

写真と照らし合わせて、①シリンダーヘッドCの形状を確認しよう。このパーツには表面と裏面があり、さらにフロントとリヤの向きも指定されている。

STEP  
2

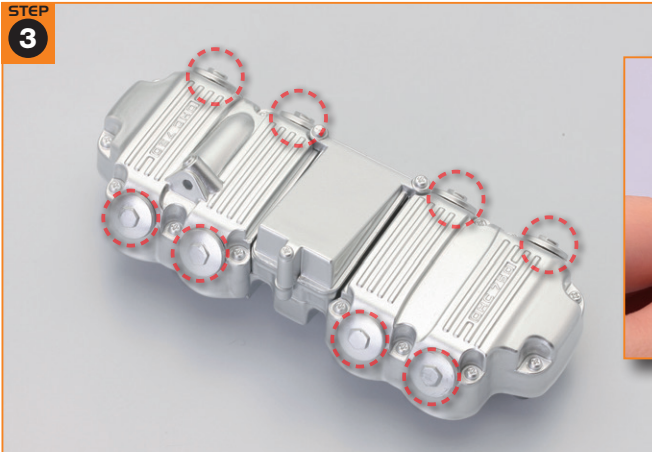
【裏面】

フロント側



リヤ側

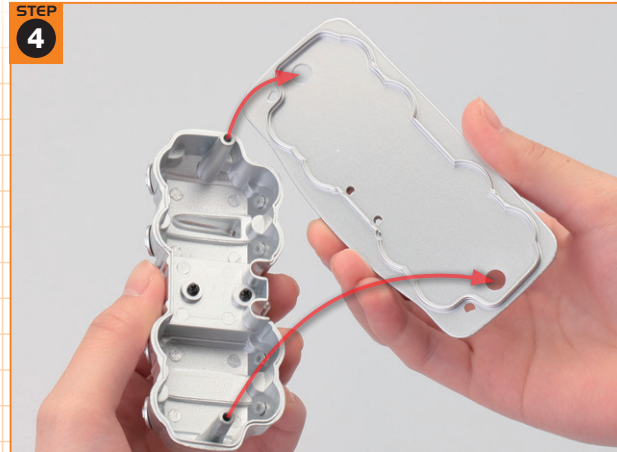
こちらはパーツの裏面になる。パーツ外縁部には低いリブが設けられており、ここに次号以降に提供されるパーツが取り付けられる。

STEP  
3

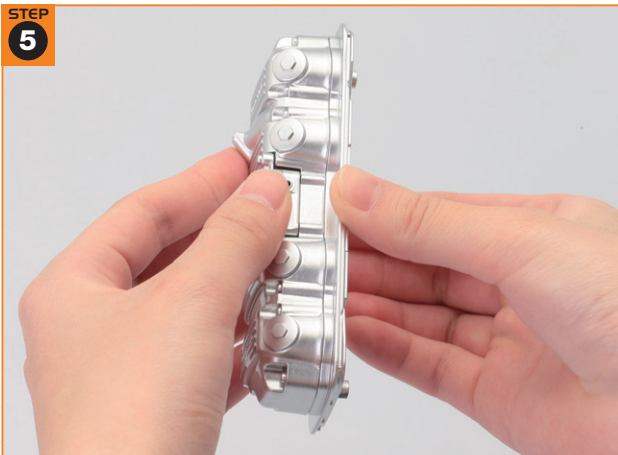
11号で組み立てたシリンダーヘッドカバーを用意しよう。前後の計8カ所に取り付けた「タペットアジャスティングホールキャップ」がしっかりとまっていることを確認しよう。



組み立ててから時間が経過したため、タペットアジャスティングホールキャップが浮き上がっている場合がある。これは樹脂パーツの弾性によるもので、不具合ではない。もう一度、しっかりと押し込んでおけば大丈夫だ。より確実な固定を望むのであれば、タペットアジャスティングホールキャップを差し込んだ穴の縁に、シリンダーヘッドカバーの裏側から少量の瞬間接着剤を塗布するといいい。

STEP  
4

シリンダーヘッドカバーの裏側へ、シリンダーヘッドCの上面を重ね合わせる。パーツの向きが判別しにくいので、写真と照らし合わせよう。

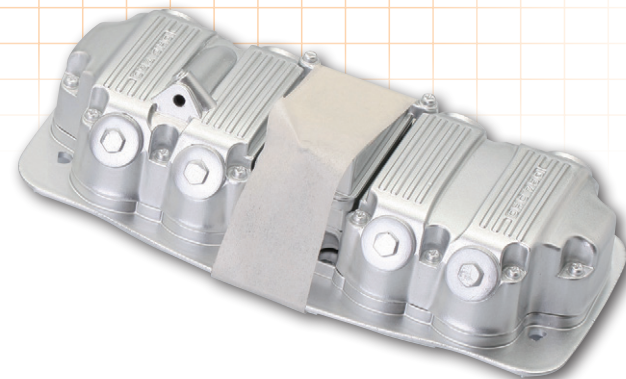
STEP  
5

シリンダーヘッドカバーとシリンダーヘッドCをしっかりと合わせる。

STEP  
6

⑤の状態を保持したまま、マスキングテープを使ってパーツが離れないよう仮止めする。

### 今号の完成



これで今回の作業は完了だ。シリンダーヘッドCとシリンダーヘッドカバーを重ねた部分に、若干のすき間が空いてしまう場合もあるが、今後の号でビスを使って固定することにより解消されるので、心配はない。組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。